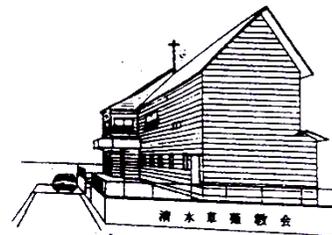


《祈禱会のみ言葉から》

先週の祈禱会では、ヨシユア記5章が開かれました。新しい、しかし遠い先祖が、通った約束の地に進み行く時の物語です。人々はみな（ヨシユアとカレブを除いて）砂漠で生まれた人々でした。まず行われたことは、人々に割礼が授けられ、主に守られ、しかし、これから進み行かなければならない、エリコの城壁を前にした、ギルガルの荒野で“過ぎ越しの祭り”を行うことでした。今の教会が洗礼と聖餐として与えられ、引き継いでいる事柄です。進み行く準備というものはいろいろな時にやってきます。総会の時期に当たるこの月は教会にとって、体制を整え、与えられた希望に向かって大きく期待をする時になります。神様がくださると約束されたもの、それを体験していないかもしれませんが、大きな恵が用意されているのです。しかし、この恵の前で私たちもまた、それを頂くのにふさわしい知恵を持たなければならないのです。どんな知恵がここでは必要だったのでしょうか。自分たちの土地を持ち、穀物を栽培しなければならないということです。もはやマナではありません。マナは、蓄えることもできませんし、人より多く取ることもできませんでしたが、平等に必要な分だけ与えられました。これを用いて商売ができないということです。小麦や葡萄は、栽培されます。そしてマナが降りるのをやめた時、おそらくマナよりはおいしい、小麦を料理して食べることはできましたが、賢く用いないと貧富の差にもつながりますし、権力者の管理するものにもなり得ます。新しい物に次々に知恵と科学を通して出会ってきた人々は、神から与えられた知恵に頼るのではなく、“文明の利器”として沢山のものを用いる歴史を歩んできましたが、不幸の原因や争いも作ってしまうことをしてきました。“治めなさい”と仰る神様に知恵を頂いて豊かに生きる一人一人になりましょう。“その地の穀物を食べた翌日から、マナの降ることはやみ、イスラエルの人々は、もはやマナを獲なかった。その年はカナンの地の産物を食べた（5：12）”とあります。私たちにはどんな富が約束されているのでしょうか。神様から力と恵を頂く世界です。この世に立つ教会の力です。

週報

2009年 2月 1日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル会の会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp